



エネルギーを新しい時代へ

2022年度第1四半期連結決算について

(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。
「1Q」表記は4月から6月までの期間を指します。

2022年7月27日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2022/1Q(A)	2021/1Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	15,745	7,212	8,533	118.3
営業利益	294	857	▲563	▲65.6
経常利益	23	916	▲893	▲97.4
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲117	640	▲758	—
(参考) 期ずれ除き四半期純利益	817	869	▲51	▲5.9

連結貸借対照表

(億円)

	2022/1Q(A)	2021年度末(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	104,937	87,221	17,715	20.3
負債	83,769	67,478	16,290	24.1
純資産	21,168	19,743	1,424	7.2
有利子負債残高	30,781	26,465	4,315	16.3
Net DER	1.38	1.18	0.20	

決算のポイント

【売上高】

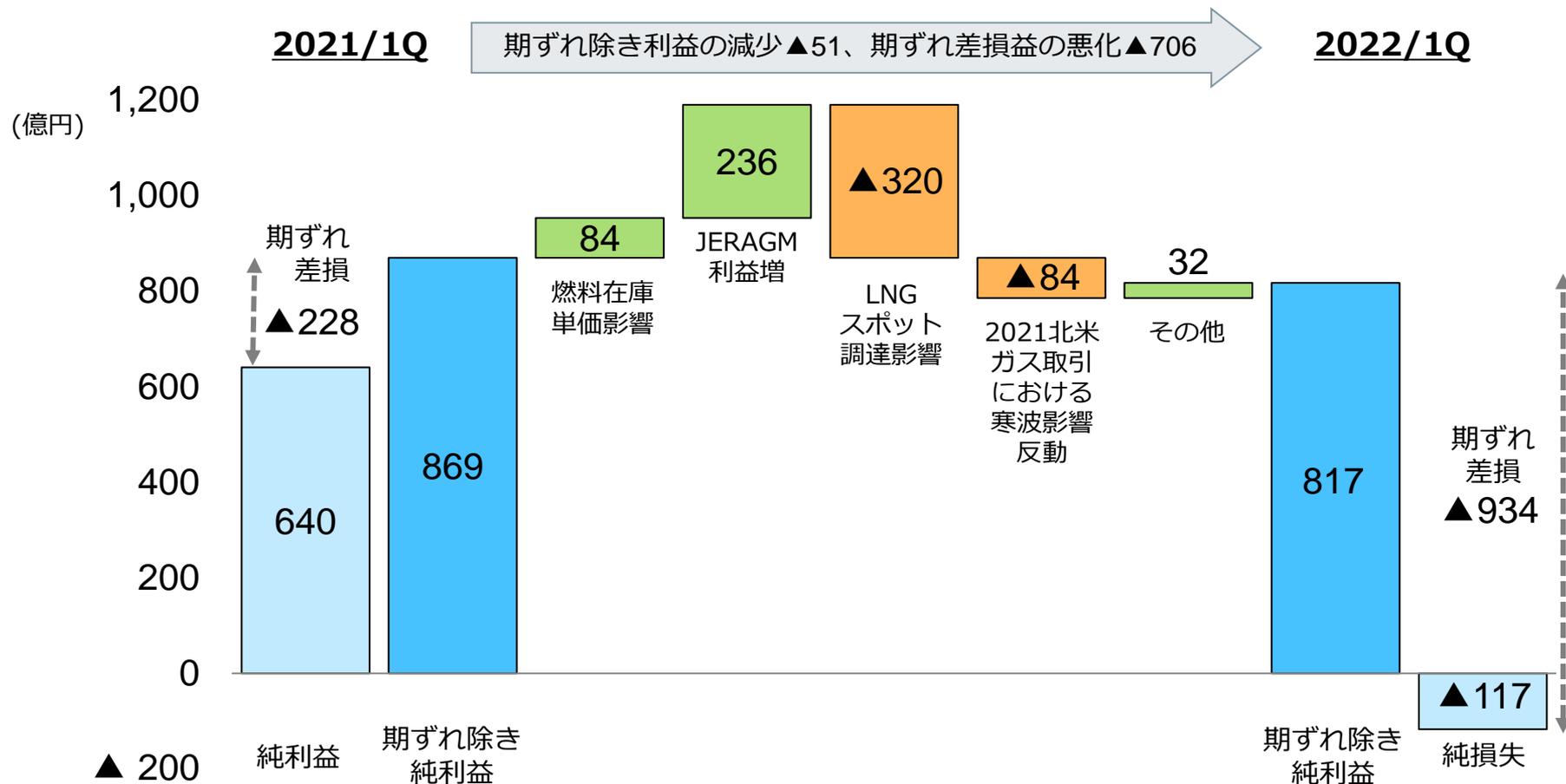
- 販売電力量の増加に加え、JERA Global Markets（以下、JERAGM）の売上増などにより、**前年同期比8,533億円増（118.3%増）の1兆5,745億円**

【純損益】

- 純損益は、**前年同期640億円から758億円減益の▲117億円（純損失）**
 - ・ 期ずれ差損が大幅に拡大（▲706億円、▲228億円→▲934億円）
 - ・ 期ずれ除き利益は減益（▲51億円、869億円→817億円）
- 期ずれ除き純利益は、燃料数量調整等に伴うJERAGMの利益増（+236億円）はあったものの、LNGスポット調達による影響（▲320億円）を主因に減益

連結純損益の変動要因

- 純損益は、資源価格高騰により期ずれ差損が大幅拡大したことから純損失へ
- 期ずれ除き利益は、LNGスポット調達の影響等を主に減益



※金額は税引後

連結損益計算書

(億円)

	2022/1Q(A)	2021/1Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	15,745	7,212	8,533	<ul style="list-style-type: none"> 販売電力量の増加 JERAGM売上増
営業費用	15,451	6,354	9,096	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費の増加 JERAGM費用増
営業利益	294	857	▲563	
営業外収益	160	81	78	
営業外費用	431	23	408	<ul style="list-style-type: none"> 為替差損 +341
経常利益	23	916	▲893	<ul style="list-style-type: none"> 期ずれ差損益 ▲980(▲317→▲1,298) 期ずれ除き利益の増 +87(1,233→1,321)
法人税等	▲152	132	▲284	
非支配株主利益	293	143	149	
親会社株主に帰属する 四半期純損益	▲117	640	▲758	

	2022/1Q(A)	2021/1Q(B)	増減(A-B)
販売電力量 (億kWh)	579	537	42
原油価格(JCC) (\$/b)	110.8	67.0	43.8
為替レート (円/\$)	129.6	109.5	20.1

※2022/1Qの原油価格は速報値

連結貸借対照表

(億円)

	2022/1Q(A)	2021年度末(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び預金	4,611	5,143	▲531	
有形固定資産	22,348	21,738	610	・国内火カリプレースの進捗等
投資有価証券	11,214	10,265	948	
その他	66,763	50,074	16,689	・デリバティブ債権増 (JERAGM等) +14,002
資産合計	104,937	87,221	17,715	
有利子負債	30,781	26,465	4,315	・借入金 +934 (子会社 ▲3) ・CP +1,950 ・社債 +1,430
その他	52,988	41,012	11,975	・デリバティブ債務増 (JERAGM等) +11,804
負債合計	83,769	67,478	16,290	
株主資本	15,933	16,881	▲948	・株主への配当 ▲831 ・四半期純損益 ▲117
その他	5,235	2,862	2,373	・為替換算調整勘定 +960
純資産合計	21,168	19,743	1,424	

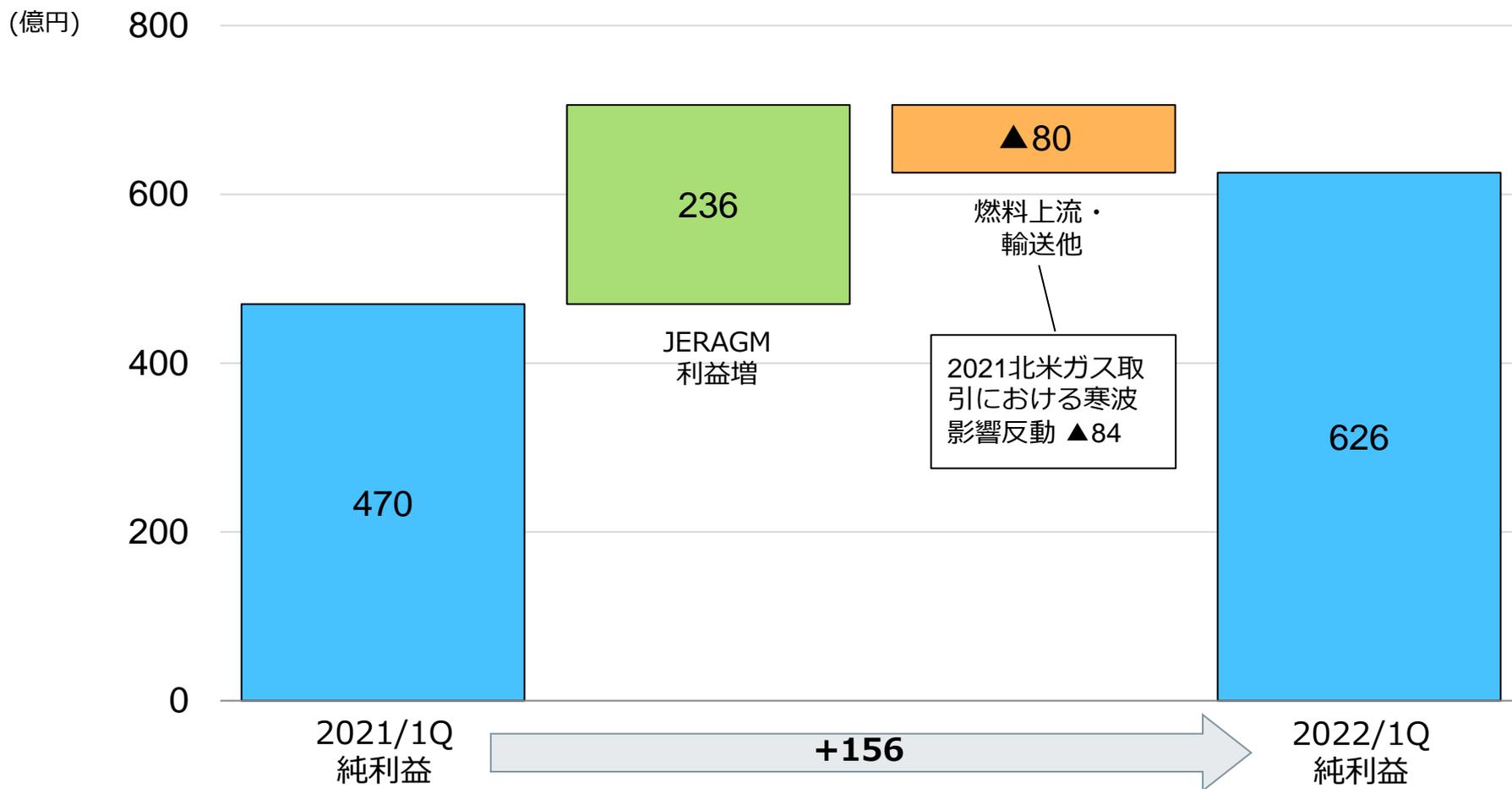
(億円)

	2022/1Q(A)		2021/1Q(B)		増減(A-B)		主な純損益(期ずれ除き) 増減要因
	売上高	純損益 (期ずれ除き)	売上高	純損益 (期ずれ除き)	売上高	純損益 (期ずれ除き)	
燃料事業※	11,728	626	4,301	470	7,426	156	<ul style="list-style-type: none"> •JERAGM利益増 +236 •2021北米ガス取引における寒波影響反動 ▲84
海外発電事業	9	12	8	13	1	▲0	
国内火力・ガス事業	10,478	▲597 (337)	5,212	278 (506)	5,265	▲875 (▲169)	<ul style="list-style-type: none"> •LNGスポット調達影響 ▲320 •燃料在庫単価影響 +84
調整額	▲6,470	▲159	▲2,309	▲120	▲4,160	▲38	
連結財務諸表計上額	15,745	▲117 (817)	7,212	640 (869)	8,533	▲758 (▲51)	

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング

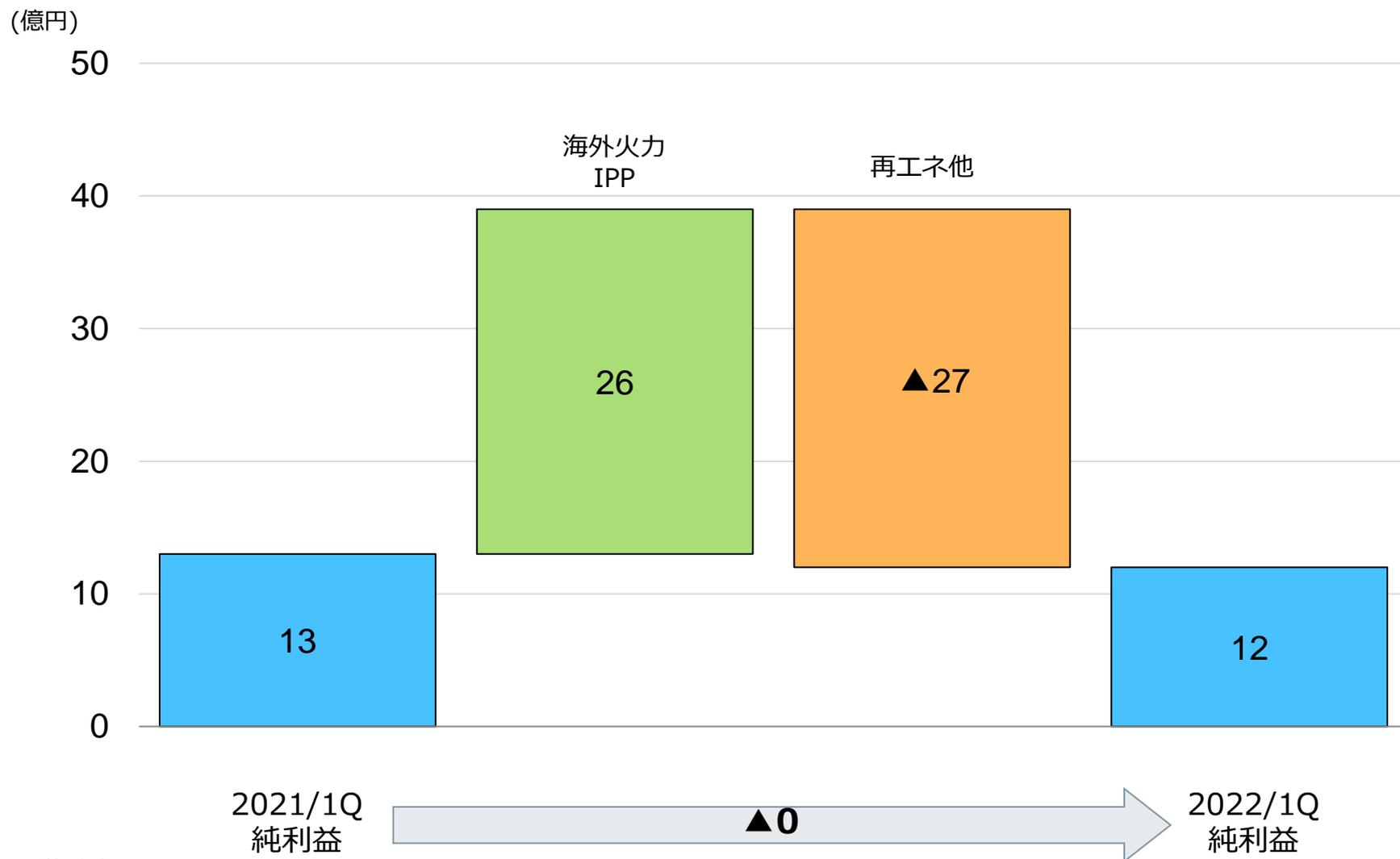
連結純利益※の変動要因（燃料事業）

- 燃料数量調整等に伴うJERAGMの利益増を主因に増益



※金額は税引後

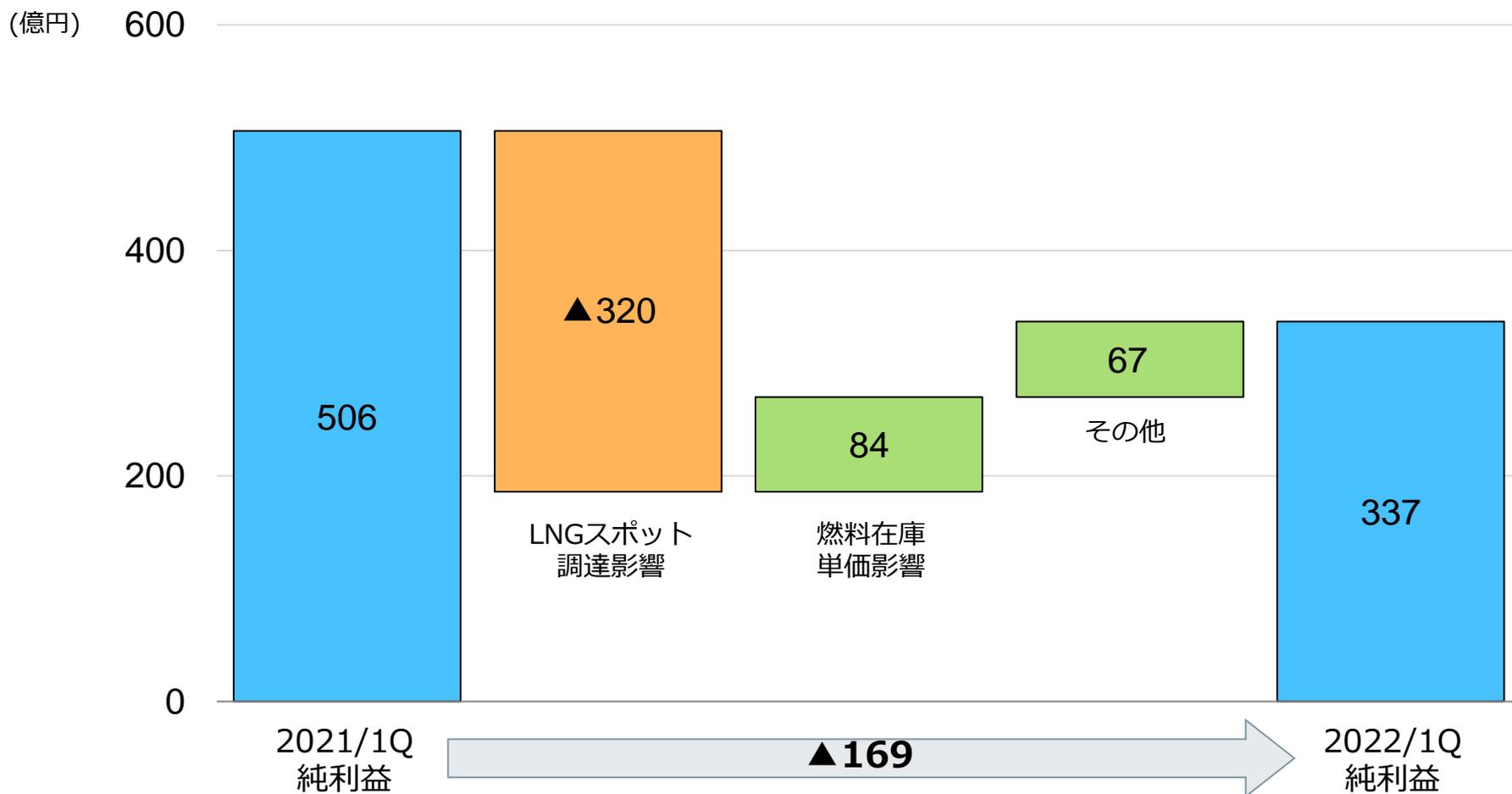
連結純利益※の変動要因（海外発電事業）



※金額は税引後

連結純利益[※]の変動要因（国内火力・ガス事業）

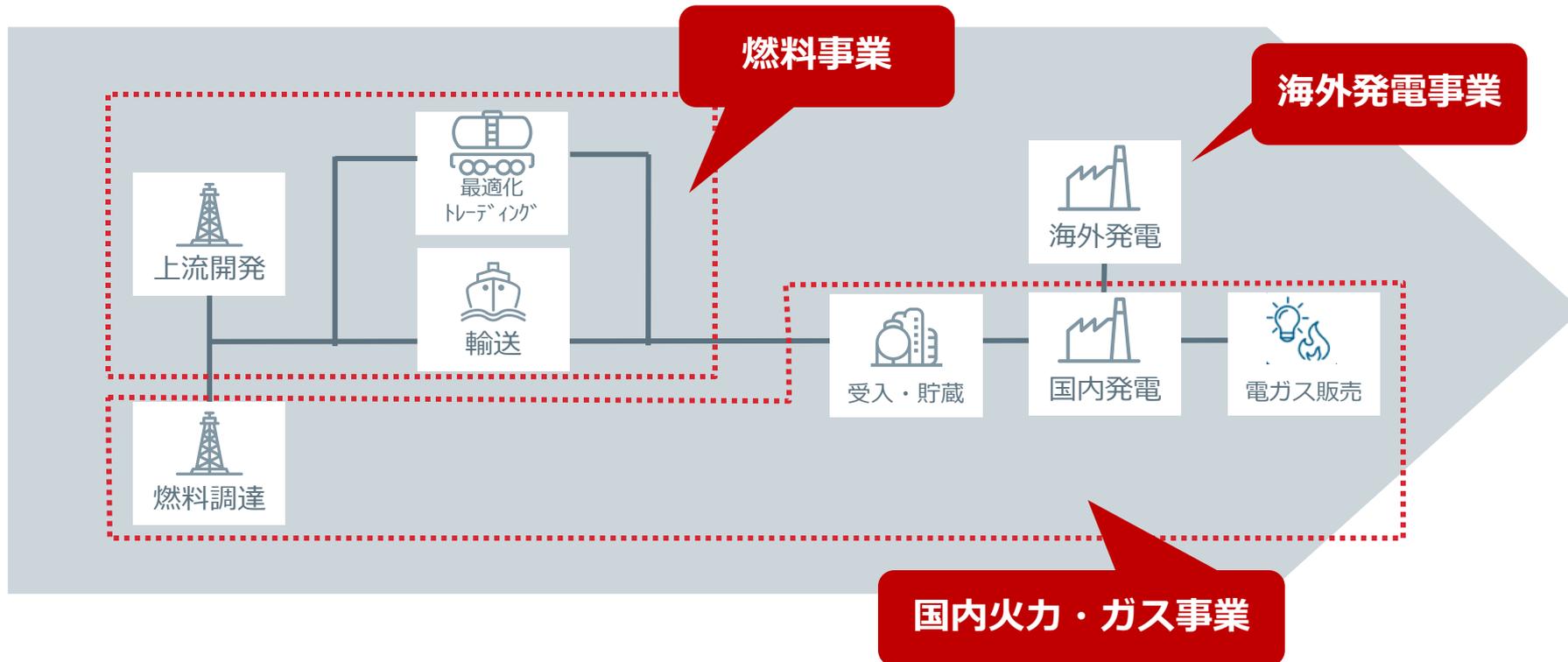
- 安定供給のためのLNGスポット調達の影響等を主に減益



※期ずれ影響除く、金額は税引後

(参考) バリューチェーンとセグメント区分

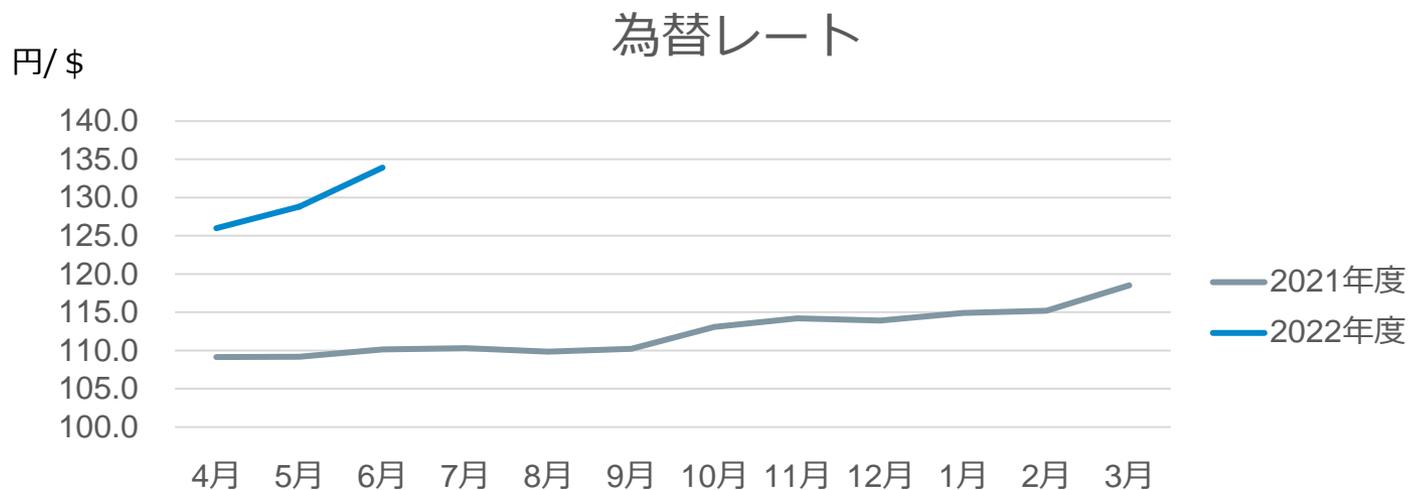
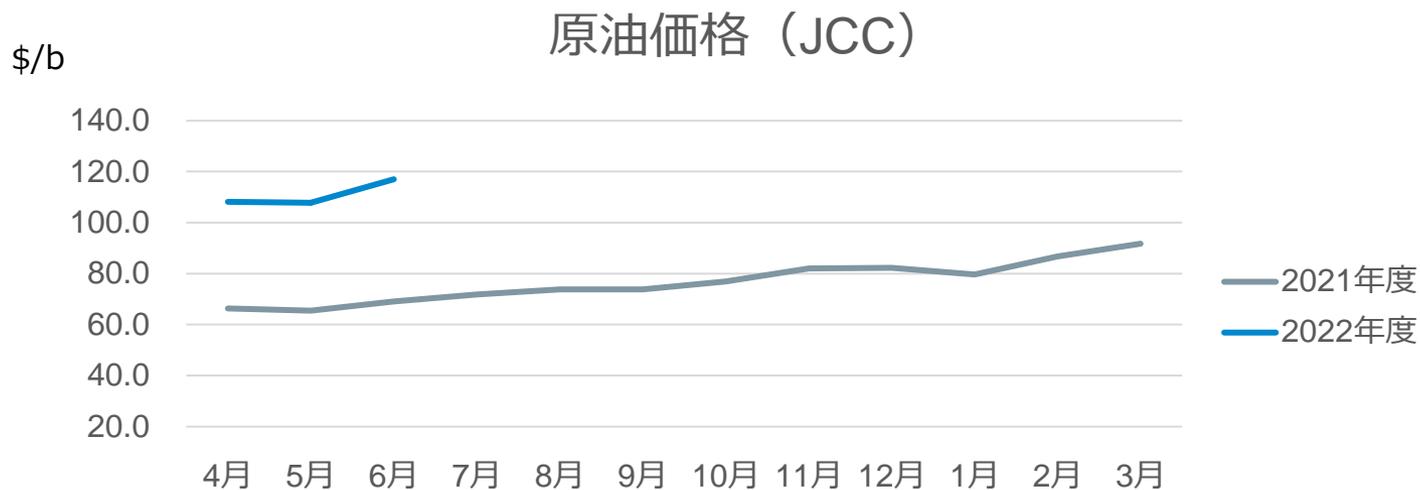
- 燃料上流（ガス田の開発）から、燃料輸送、燃料貯蔵（燃料基地の運営）、発電、卸売まで、燃料・火力のサプライチェーン全体を保有。
- セグメントとして、燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行う「燃料事業」、海外の発電事業等への投資を行う「海外発電事業」、国内における電力・ガスの販売などを行う「国内火力・ガス事業」に区分している。



- ウクライナ情勢等の影響を受け、資源価格・為替および販売電力量の見通しが不透明であり、現時点では合理的に業績を算定できないことから、2022年度の業績見通しを未定としております。
- 今後、業績見通しが可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

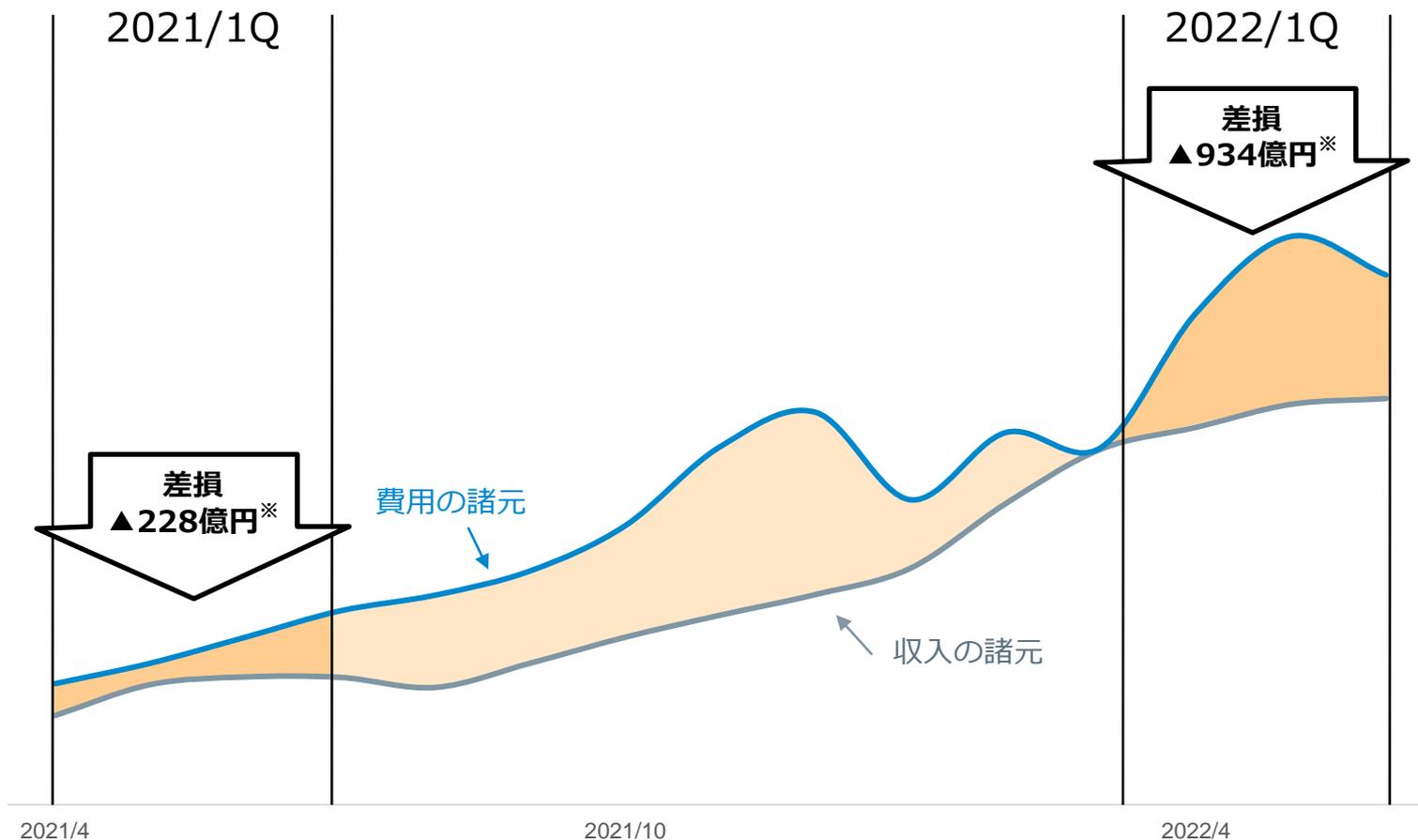
参考情報

原油価格・為替レート推移



期ずれ影響のイメージ (2021/1Q – 2022/1Q)

- 燃料価格変動の影響を販売価格に反映する燃料費調整の仕組みにおいて、燃料価格の変動を販売価格に反映するまでの「タイムラグ」があるため、期間で区切った際には収支影響が生じる。
- 中長期的には収支影響はニュートラルとなる。



※金額は税引後

販売電力量・発電電力量の推移

【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2022年度	579				579
2021年度	537	646	649	723	2,555

【発電電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	10月～12月	1～3月	合計
2022年度	528				528
LNG	417 (79%)				417 (79%)
石炭	112 (21%)				112 (21%)
重油・原油	0 (0%)				0 (0%)
2021年度	534	617	623	699	2,473
LNG	412 (77%)	468 (76%)	484 (78%)	558 (80%)	1,923 (78%)
石炭	122 (23%)	149 (24%)	138 (22%)	141 (20%)	550 (22%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

格付取得状況

【発行体格付けの推移】

